

【平成28年度】

創立5年目のHASEC。

新入生が14名加わり、今年度も
英語力アップに向け、頑張っています。



平成24年度と平成25年度、「英語力を強化する指導改善の取組み」を実施する拠点校として、文部科学省から県内4校のうちの1校に指定を受けた八幡高校。

英語に興味を有する生徒の意欲や能力を、授業以外でもさらに伸ばせる場として、立ち上がったハセック（**Hachiman After School English Circle・放課後英語サークル**）。

外国人観光客も多い近江商人発祥の地として名高い近江八幡市には、発信する材料がたくさんあります。「英語での発信力」を磨き上げ、アクティブ・ラーニングの環境も大切にして、世界観をグレードアップしてほしいものです。

今年度のAL Tも、昨年度に引き続き、アメリカ合衆国・
ミシガン州出身のニア先生です。よろしくお願いします！



■平成28年4月20日（水）

1・2年生メンバー15名参加。



部別集会後、限られた時間ではありましたが、今年度最初の活動をおこないました。部活と HASEC との両立は厳しい部分もありますが、頑張っしてほしいものです。

前半はまず、新1年生が、「出身中学校」「HASEC 入会動機」「将来の夢」「趣味」など、独自の PR を含めながら、英語で自己紹介をしていきました。発表内容について、2年生やニア先生から質問や意見が出され、深化させていきました。

後半は、ニア先生による自己紹介、出身地であるアメリカ・ミシガン州の紹介をはじめ、身近な日米比較を楽しみました。滋賀県と友好提携の州だけに、親近感を感じている生徒や短期留学経験のある生徒もいて、話はたいへん弾みました。

アットホームな雰囲気英語教室で、「今年度の目標」なども英語で出し合いました。歓談の時間がやや多かったものの、今年度のハセック活動の方向づけがしっかりと出来ました。

GTEC のスコアや英検取得など、各自が達成可能な目標を定め、頑張っしてほしいものです。

■平成28年5月11日（水） 1・2年生メンバー17名参加。

今年度から、昼休みにも HASEC 活動を取り入れ、放課後、部活に参加する生徒が時間を確保できるよう、配慮しました。

まさに、

“Practice makes perfect” ” 大海も一滴から”

の気持ちで、毎日の積み上げを大切に頑張っています。

今日の活動は、ゴールデンウィーク明けということで、「連休中の出来事」「感じたこと」を簡単に英語で報告できるよう、事前に宿題を出しておきました。

「部活で練習試合に行き、疲れた」等の単調な報告は認めず、発表前にポイントをメモして話すよう指示しました。中には、「大阪まで洋服を買いに行った」ことを報告した生徒がいて、ファッションに興味を有するニア先生からは、詳細な質問が出るなど、特に、若者文化の話で盛り上がりました。



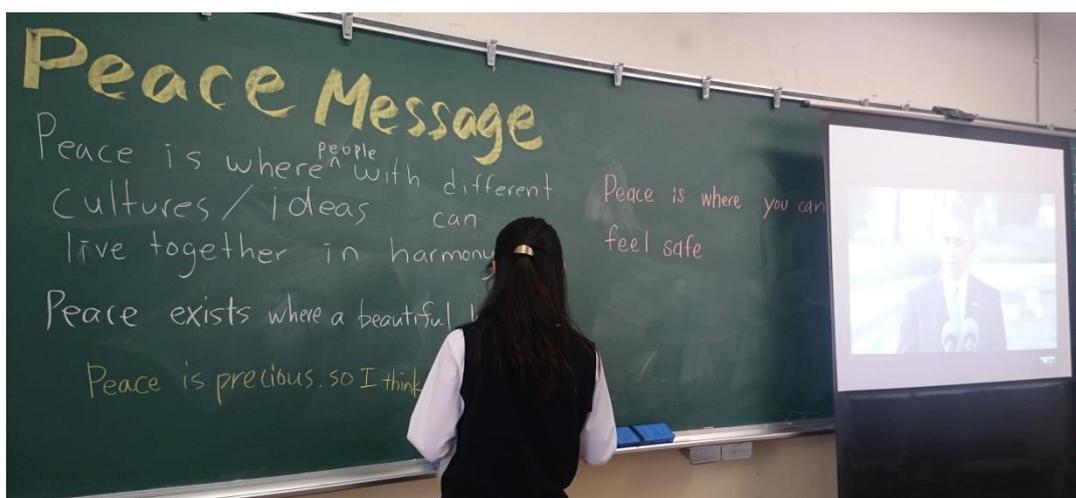
■平成28年6月1日（水） 1・2年生メンバー13名参加。

今回は、アメリカの名曲にスポットをあて、ニア先生のお薦めの曲・『Hotel California』(by Eagles)を聴きました。先ず一回聴き、5カ所の空欄を補充したあと、stanza（段落）毎の構成を説明しました。stanza の中には、英語詩独特の rhyme（押韻）が入っています。生徒達はそれらを見つけ、リズム感

や時代背景を探ったうえで、どのような理由でこの詩が作成されたのか、自由に想像していきました。1年生ながら、「贅沢さ」と「心の貧困」など、鋭い指摘をする生徒もいて、やや難解な歌詩内容ながら、ポイントを読み解く姿勢は真剣そのもの。心は、1970年代にタイムスリップしたのではないでしょうか。

■平成28年6月8日（水）

1・2年生メンバー10名参加。



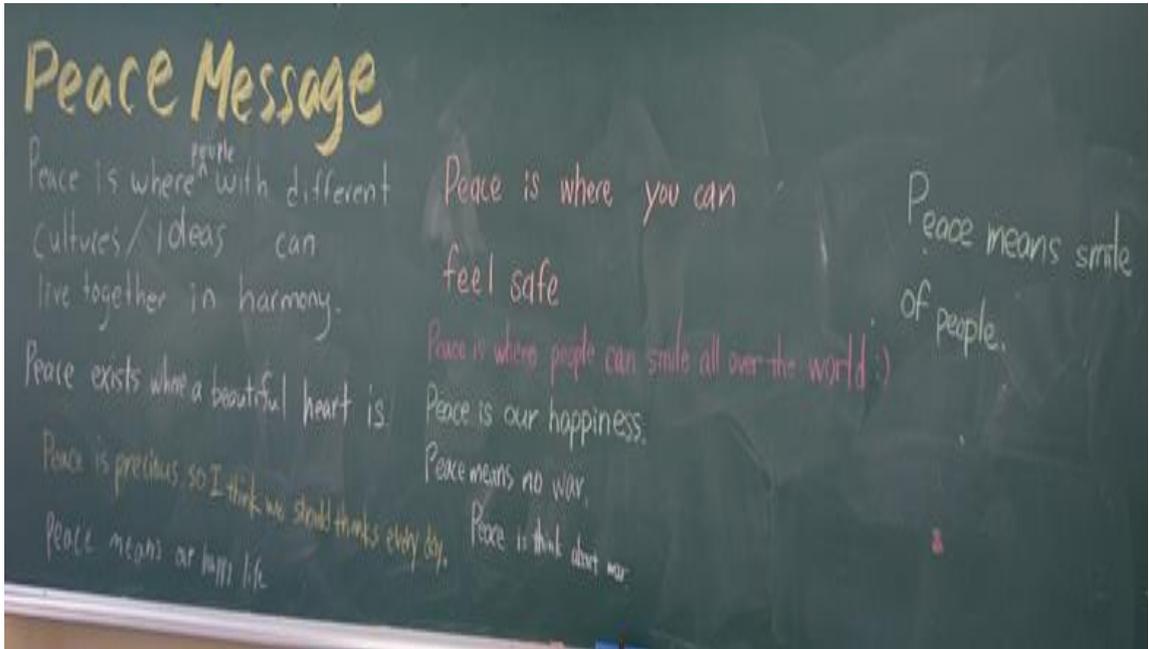
今日は、先月27日（金）に広島を訪れた、アメリカ合衆国のオバマ大統領のスピーチを取り上げました。活動は、

- 1 小学校、中学校で広島を修学旅行で訪れた生徒がいないかを確認。
- 2 広島平和記念公園や原爆資料館を訪れたという2名が挙手。そのときの印象を、その2名に英語でインタビュー。
- 3 キーワード（英語）を説明した後、YouTubeにアップされたオバマ大統領の広島演説の最初の部分を考察。
- 4 英語原稿（5ヶ所の空欄あり）を配布。
- 5 再度動画を見て、ニア先生と共に、空欄に入る語句を答え合わせ。
- 6 「平和とは何か」を、ニュース記事等も紹介しながら、ニア先生とともに話し合い。
- 7 オバマ大統領の動画の横に立ち、黒板に、「近江八幡より世界へ平和メッセージ」を英語で記入。

という流れで進めました。

生徒達は、ノーベル平和賞も受賞しているオバマ大統領の世界平和を願う熱意に圧倒されたのか、表情は真剣そのもの。また、過去に戦火を交えた日米両

国が、今日、日米同盟など必要不可欠な友好関係を築いている現状にも注目。



平和の尊さについて各自で考え、英語によるメッセージを作成していました。平和を思う高校生の気持ち。近江八幡市から全世界に届いてほしいものです。